

(氏名)熊澤利和	(学部)地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>1) 成果説明 (大要)</p> <p>(1) 【教育、研究、社会貢献等の分野】</p> <p>平成 30 年度 (2018 年度) の教育、研究等の分野に関する成果は、以下に集約される。</p> <p>科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) を下記の研究課題名及び期間に補助金による研究助成を受け研究を展開している。</p> <p>研究課題名：緩和ケア及び看取りにおける意思決定プロセスの倫理的・法学的側面に関する探索的研究 補助事業期間：平成 28 年度～平成 30 年度</p> <p>研究代表者：熊澤利和 研究分担者：谷口聡 (本学 経済学部) 郷堀ヨゼフ (淑徳大学アジア国際社会福祉研究所) 本年度より、研究協力者として森田稔 (本学 地域政策学部)</p> <p>平成 30 年度は、前年度からの継続として下記の調査を行った。</p> <p>①意思決定支援の過程の現状を把握する為に、訪問看護ステーションにおける調査を実施した。研究データの収集を継続し、データの整理を行っている。</p> <p>②日本国内における「宗教性を排除したケアを宗教者が行なうこと」の問題に関する調査を実施する予定であった。しかし、これに関する予定していた研究協力者の状況から、調査そのものを変更する必要性が生じた。そのため、医療者の仕事上の満足度・達成度と感情労働に対して宗教的要素がどのような影響をもたらしているのかについて調査することで対応をした。</p> <p>方法は、2018 年 8 月 24 日から 26 日の期間に開催された「日本仏教看護・ビハラー学会」の 2018 年全国大会の参加者を対象に、質問紙による調査を行い、統計的手法を用いて結果を示した。</p> <p>③【研究報告】については、下記のものを示した。</p> <p>a) 熊澤利和・森田稔・郷堀ヨゼフ『宗教性が医療者の職業上の満足度・達成度や感情労働に及ぼす影響分析』 Discussion Paper (高崎経済大学地域政策学会) November 15, 2018</p> <p>④【学会報告等】</p> <p>⑤研究分担者 谷口聡により、研究成果として次の論文が示された。</p> <p>a) 「ドイツ民法典における『患者の事前指示書』規定に関する一考察」 高崎経済大学論集 61 巻 1・2 号 (2018 年 10 月) 1～27 頁。</p> <p>b) 「終末期医療に関する医療関係団体のガイドライン」 産業研究 (高崎経済大学地域科学研究所紀要) 54 巻 1 号 (2018 年 11 月) 27～44 頁。</p> <p>c) 「『事前指示書』の普及に対する自治体の取り組みー宮崎市の“エンディングノート”を素材として」 地域政策研究 (高崎経済大学) 21 巻 3 号 (2019 年 2 月) 19～39 頁。</p> <p>d) 「チェコ共和国における終末期医療と法規範」 高崎商科大学紀要 33 号 (2018 年 12 月) 245～250 頁。</p> <p>e) 「終末期医療に対する患者の同意に関する行為規範」 九州法学会会報 2018 年 6～9 頁。</p> <p>⑥これまでの研究を踏まえて、今年度、科研費の応募の申請を行ったが不採択であった。その結果を踏まえて、再度、研究内容を見直し、平成 32 (2020) 年度からの研究費獲得を行っていきたいと考えている。</p>	

(2) 【学内業務の分野】

学内業務の分野では、

- ①情報基盤センター長として、学内の情報基盤センターの運営にあたった。また教育研究審議会のメンバーとして大学全体の運営に情報基盤センター長として携わった。
- ②入試運営委員として入試制度についての検討等に携わった。
- ②新カリキュラムでは、高崎市の課題と政策 平成30年(2018年)12月19日(水) 第11回「やさしい眼差しに満ちた市政」 講師：子育て支援担当部長 星野 守 弘氏 の時に講義時及び成績の評価の担当をした。また第12回 平成31年(2019年)1月9日(火) まとめ②で担当した。

(3) 【学会報告等】

- ①日本地域政策学会第17回全国研究大会
開催日時：平成30年(2018年)7月21日(土)
開催場所：岡山大学
個別報告：(第3セッション 医療・福祉) 在宅ケアと家族の意思決定に関する研究
- ②日本地域政策学会第17回全国研究大会
開催日時：平成30年(2018年)7月22日(日)
開催場所：岡山大学
地域福祉分科会：「地域包括ケアシステムの実現に向けた地域福祉計画の充実について」分科会座長として参加した。
- ③日本仏教看護・ビハーラ学会 第14回年次大会
開催日時：平成30年(2018年)8月24日(金)～8月26日(日)
開催場所：東大寺総合文化センター
個別報告：(共同) 熊澤利和・郷堀ヨゼフ『緩和医療における“Terminal Sedation”に関するアンケート調査結果』日本仏教看護・ビハーラ学会 第14回年次大会 2018年

【学会関連】

- ①仏教看護・ビハーラ学会監事及び編集委員(平成28年(2016年)9月1日～平成31年(2019年)年8月31日)
- ②日本地域政策学会監事(平成28年(2016年)7月～平成30年(2018年)6月)
- ③日本地域政策学会理事(平成30年(2018年)7月～平成32年(2020年)6月)
- ④大正大学社会福祉学会事務局長(継続)

2 その他の事項

3 次年度以降の計画・抱負

平成31年度は、図書館長を拝命した。これまで本学図書館が取り組んできた事業を継続できるよう、さらに、学術情報の整備と学生や市民に利用しやすい図書館の継続的な運営について取り組んでいきたいと考えている。特に、中期的な視野に立って考えていきたい。